第1学年2組　国語科学習指導案

平成　年　月　日（　）第　校時

授業者　　教生　　○○　○○

指導教員　　　　　　　　先生

1.単元名・教材名　　てがみで　しらせよう

2.本時の学習指導

(1)目標

○文章の書き方に注意しながら、手紙を書くことができる。

(2)評価基準

|  |  |
| --- | --- |
| ア　国語への関心・意欲・態度 | ウ　書く能力 |
| 手紙の書き方を理解し、進んで書こうとしている。 | 文と文の続き方に注意し、簡単な構成を考えて手紙を書いている。 |

(3)展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導・援助と評価の創意工夫 | 時間 |
| １　本時の学習課題をつかむ。  しらせたいことや　かんがえたことを、てがみに　かこう。  ２　誰に、何を知らせるか発表する。  ３　手紙の書き方について確認する。  ４　手紙を書く。（本時は下書き）  ＜書くこと＞  　・相手の名前  　・伝えたい内容  　・自分の名前  　・絵  ５　本時のまとめをし、次時の学習への見通しをもつ。 | ・学習の進め方  ・事柄集め  ・手紙の書き方  ・手紙の書き方  ・本時のまとめ | ○前時の振り返りをする。  ○学習の課題を示し、ねらいを明確にする。  ○知らせたいことは何であったかを思い出せるようにする。  ○誰に、何を伝えたいと考えたのかを尋ね、発表するようにする。  ○前時までに学習した手紙の書き方（句読点の打ち方、主語と述語の関係、敬体での書き方、文と文の続き方）について確認する。  ○上記の他、手紙を書く時に必ず盛り込むこと（誰に書くか、伝えたい内容、自分の名前、内容を伝える絵）を板書し、確認する。  評手紙の書き方を理解し、自ら進んで書こうとしている。  （ア　書いたものによる考察）  ＜手紙＞  ○今回は文章と絵を練習する日であることを伝える。  ○手紙の書き出しに悩む児童には、教科書の教材ではどのように始まっていたか見るよう助言する。  ○何を書いたらよいか悩んでいる児童には、事柄集めでどれを知らせたいと思ったか想起できるようにする。  評文と文の続き方に気を付けながら、簡単な構成を考えて手紙を書いている。  （ウ　書く能力）  ＜手紙＞  ○書けたら、自分で間違っているところはないか確認する。  ○早く書けたら、二枚目、三枚目を書いてもよいことを伝える。  ○書いた手紙は回収する。  ○次回は手紙をまだ書けていない人がいればその続きをし、書けている人は児童同士で交換し合って読んだ後、清書をすることを伝える。 | 5’  3’  10’  22’  5’ |

3.備考　　在籍児童数　35名

4.板書計画